

今回は「ドーハの建築」についてです。

高層ビルが建ち並ぶ

中東のカタールの様子を想像すると、どのような風景が目に浮かぶでしょうか。砂漠、岩、石造りの家、ラクダ…などでしょうか。中東の大部分は砂漠ですので、そのイメージはおおよそ正しいのかもしれません。中東の国々には豊かな地下資源をもとに発展した町が点在しています。UAEのアブダビやドバイがその代表例ですが、カタールの首都ドーハもそれらの町と同様に発展した都市と言えます。上の写真は沖から見たドーハのオフィス街です。ほとんどがオフィスビルですが、その他にカタールの官庁、ホテル、ショッピングモール、賃貸マンションなどが立ち並んでいます。



斬新なデザインのビルが建ち並ぶ

ドーハのビルはデザインが特徴的なものが多いです。どのビルも一つの美術品のようです。このような奇抜なデザインのビルを建てることのできる理由の一つは地震が起きない土地だからです。右下の写真のビルのように、2つのビルの間に丸い鉄球のオブジェが挟まっているようなデザインを地震の多い日本で建設したら、どうになってしまうのでしょうか。



上に紹介したビルはドーハの中心街のものですが、実はまだ半分ほどしかオープンしていません。ビルの最上部に建設用のクレーンが見え、建設中のものがほとんどです。カタール人の話では、ほんの10年前は2、3の高層ビルしか建っていなかったという話を聞きました。カタールの経済成長に合わせるようにドーハの町もどんどん発展してきています。今後10年後のドーハの姿が想像できないほどです。

オフィス街を抜けると

ドーハのオフィス街を抜けると、大通りに面した商店街、多くの人が住むコンパウンドが立ち並びます。日差しが強いため、ほとんどの建物は白色で、また舗装していないところは白い砂がむき出しになっているため、全体として町が白い印象です。

